

☆*****☆

ニッセイメール配信サービス（メルマガ）

【メルマガ内容】

厚年基金（ ） DB基金（ ） DB規約（ ）
DC （ ） 会計基準（ ） その他（○）

【タイトル】〔厚生労働省〕働き方の多様化を踏まえた社会保険の
対応に関する懇談会について

☆*****☆

平素より当社社業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

厚生労働省は昨日（2019年9月2日）、第7回働き方の多様化を踏まえた
社会保険の対応に関する懇談会を開催しました。

この懇談会では、先般公表された公的年金の財政検証結果を受けて、被用者保険
（厚生年金）の適用範囲を拡大すべきか等について議論が行われました。

詳細は、以下の厚生労働省HPをご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208525_00013.html

○8月27日に公表された「国民年金・厚生年金の2019年財政検証結果」（※）の
中では、被用者保険の適用拡大に関するオプション試算の結果が示されていました。

<オプション試算の結果>

- ①現在の企業規模要件（500人）を廃止した場合（125万人追加適用）
- ②さらに賃金要件（月8.8万円）を廃止した場合（合計325万人追加適用）
- ③一定以上の収入（月5.8万円）があるすべての雇用者を適用した場合
（合計1,050万人適用）

について、最終的な所得代替率は、経済前提が中間のケースⅢにおいて、
現在の所得代替率61.7%に対して

①の場合51.4%、②の場合51.9%、③の場合55.7%となり、
適用拡大は、所得代替率や基礎年金の水準確保に効果が大きいことが示され
ました。

※2019_09_メルマガ 2019.08.28【その他】厚生年金・国民年金の令和元年財政検証
結果について

<http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/magazine/256_nenkin_magazine_20190828.pdf>

- 懇談会では、これらを受けて、経営者・労働団体・研究者等の有識者間で議論が行われた模様です。
- 厚生労働省は、懇談会での意見も踏まえ、今後社会保障審議会年金部会で議論を行ったうえで、2020年に関連法案の国会提出を目指す模様と報じられています。

～メルマガのバックナンバーを掲載しています～

<<http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/report.htm>>

バックナンバーでは、過去の年金NEWS・メルマガに加え、マーケット情報等（Daily市場レポート、臨時市場レポート、第1特約運用状況）をご覧ください
ることができます。

=====

日本生命保険相互会社

団体年金部

団体年金コンサルティンググループ

年金NEWS・基金照会窓口

T E L 03-5533-5572

F A X 03-5533-5228

E-mail kikinmadoguti@nissay.co.jp